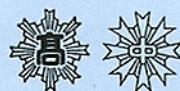


新「北陵館」フル稼動!

一 会 議・合 宿 な ど に 快 適 に 利 用! —



同窓会報

平成14年度総会案内号

発行 印刷

宮城県仙台第二高等学校
同窓会事務局
仙台市青葉区川内濃橋通二号
印文印刷出版株式会社
☎ 三二一五六五一（直通）

平成14年度 同窓会総会のご案内

1. 日 時：平成14年 7月 6日（土）総会17時 懇親会18時（受付時間は16:30～）

2. 場 所：仙台ホテル（仙台駅前）3F大ホール

3. 懇親会費：6,000円

4. 申込締切：6月28日（金）

★出席会費は同封の振込用紙でお振り込み下さい。参加申込みを兼ねます。

★ご出席者数の掌握のため確実にお申し込みをいただきますようお願いいたします。

5. 問い合せ先：同窓会事務局（月・水・金）022-221-5651

又は仙台二高 石井、嶺岸同窓会担当022-221-5626

6. 当番回期：高13、25、26、37、38回

この回期の方々は常任委員を中心にご協力を願います。

★なお、当日は、本案内号を御持参下さい。

同期の方、お誘い合わせの上、
ご参加下さい。

前同窓会副会長・顧問 藤原佐一郎殿ご逝去

弔辭



故藤原佐一郎先輩のご靈前に、謹んでお別れの言葉を申し上げます。弥生、三月、私は母校であります仙台二高前の前庭の清香苑には梅の香が漂い、グラウンドに面した桜並木白雲崖の笛も、日増しに形を為してきて、爛漫たる花の季節も間もなくという時に、その到来を待たずに、先輩には帰らぬ人となつてしましました。

一月の中旬頃でしたか、先輩が入院され、療養に努めて

おられるというお噂を耳にしましたが、寒い季節を乗り切るため、大事をとられてのことぐらいに考えておりました

だけに、この度の突然の訃報に接し、その知らせの事実であつたことを知った今、これまた涙いたすばかりであります。

思えば、藤原先輩の母校に対する深いお気持ちは、ご自身が同窓会報第五号の中で回顧しておられるように、昭和四年の春に、現在地である川

生方に導かれて、充実した思

い出深い二中での日々を送られました。

その結果として、藤原先輩も含め、四年生から旧制二高に進学した人が同期で二十七名にも上つたのでした。

後に、当時の河合紹吉第五代校長の書かれた『二中移転秘史』を発見し、当時の校地移転と新校舎建設とが、先生の並々ならぬ努力によるものであったことを知るに及んで、河合校長への敬慕の念と合わせて、母校愛が一段と深まつたものと想われます。

その母校愛をもって、藤原先輩は昭和四十六年以来、平成十三年までの三十年間、仙台二高の同窓会副会長として、金子太郎会長、堀田康哉会長を助け、母校の発展と充実のために全力を注いでこられた

内に学校が移転し、新築なつた校舎に新入生として最初に入り、二中生としての青春時代をスタートさせた時に始まるのです。

周囲の素晴らしい自然環境と、当時としては珍しいコンクリート造りのスチーム暖房設備のある校舎で、得がたい友人達と共に、素晴らしい先輩が同窓会報第五号の中で回顧しておられるように、昭和四年の春に、現在地である川

内に学校が移転し、新築なつた校舎に新入生として最初に入り、二中生としての青春時代をスタートさせた時に始まるのです。

就任以来のご功績は、昭和五十五年、校舎の改築を中心とした創立八十周年記念事業を成功に導かれたことです。

また、この時に、河合校長の事蹟を偲んで、『二中移転秘史』を出版されたことも、大きな功績の一つと申せましよう。

さらには、九十周年及び百年記念事業にも副会長として関わられたのでした。

そのほか、母校と後輩への思いは常に深く強く、財團法人仙台二高奨学会へも役員の一人として関わつておられた上に、折に触れて、後輩の学習の向上と教養を高めようとする努力を促すために、多くの図書を寄贈されるなど、その貢献は大変大きなものがあります。

私は、昨年の七月の同窓会総会で、堀田会長の後任として、母校仙台二高の同窓会長に推举されました。正に藤原先輩達が支え築いてこられた百年の歴史と伝統を継承し、新しい百年に向けて、力強く着実に歩んでいかなければなりません」と考えております。

遺志を大事にすることである

のでした。

就任以来のご功績は、昭和五十五年、校舎の改築を中心とした創立八十周年記念事業を成功に導かれたことです。

先輩とは、仙台ロータリークラブでご一緒することがありましたが、お会いして言葉

を交わす度に、その温厚で篤実なお人柄と、仕事を通して地域の発展に尽くそうとされていた企業人としての変わらぬ姿勢とに、いつも共感を覚えおりました。

しかし、そのお姿に再び接することも今はや叶わなくなってしまいました。

今はただ、先輩の御靈の安らかならんことを祈るばかりです。ここに生前のご尽力に感謝し、ご冥福をお祈りしますとともに、はるかより、よくわが母校仙台二高をして発展隆盛にお導き下さいますよう懇祷し、弔辭といたします。

そのことが、藤原先輩のご

私は、昨年の七月の同窓会総会で、堀田会長の後任として、母校仙台二高の同窓会長に推举されました。正に藤原先輩達が支え築いてこられた百年の歴史と伝統を継承し、

新しい百年に向けて、力強く着実に歩んでいかなければなりません」と考えております。

宮城県仙台第二高等学校
同窓会長 西澤潤一

平成十四年三月十二日

仙台二中・二高 校内緑化の歩み

佐々木 武夫

【二】はじめに

母校仙台二高の校地周囲の蒼古亭亭たる大樹の連なりには、緑化に心血を注ぎ続けた先人の思いが溢れ、風格ある伝統を覚える。

特に正門両側の校舎南前庭には、胸高直径65~80センチのヒマラヤスギ、60~75センチの櫟、60センチ前後の銀杏、柳、みずき、ヒッコリー、染井吉野、桂、50センチ前後の赤松、紅葉楓等が林立し、外にメタセコイア、伊呂波紅葉、児手柏、ドウダンツツジ、金木犀、山茶花、馬酔木、月桂樹、伽羅木、梗、椿、黒松、珊瑚樹、百日紅、山吹、伊吹、蘇芳、青桐、ツツジ、大黄楊、藤、木蓮、クルミ等が沢山の大樹の間に所を得て繁茂している。

この鬱蒼とした樹林は、單に春夏秋冬の風趣ある景観を展示するばかりでなく、正門前を頻繁に疾駆する車の騒音を吸収し、ほとんど消してくれる。また、二高の重厚で落ち着きのある校舎を外部に剥

き出しに誇示することなく、錦衣を着た奥方がうすぎぬを纏い絢爛を包み隠すに似た働きを持ち、更には青葉山一帯の風致地区の一翼を実際に見事に担い校歌二番の詞どおりの教育環境を形成する。

このかけがえのない万緑の財産形成の歩みを辿り、先人の教育環境整備に腐心された英明に思いを馳せ、その恩恵に浴する幸せを後人たる私共はよく噛みしめたいものである。

【二】協同園記碑

校地の東南、講堂の南側に食堂が建っている。その食堂入口左側に「清香苑」と名付けられた二高八景の一つがある。幹が朽ちてがらんどうになつた梅の老木が今でも清楚な花咲かせ、ほのかな香りを漂わせている。その梅の木の陰に、高さ2メートル程の、稲井石でできた「協同園記碑」が建っている。

明治四十一(一九〇八)年十月四日、北六校舎時代に、

皇太子殿下「後の大正天皇」

碑石代・撰文者筆者謝礼・石

工料・建方土盛り人件費・その他雜費として二五円と記録されている。東宮侍講で漢学の泰斗でもあつた三島に撰文(文章作成)を依頼したところに大変な心遣いを見る。

この記碑は昭和三(一九二八)年の校舎移転の際に川内現在地に移された。北六校舎時代の二高緑化の歩みの中でも特筆すべき動きであった。

【三】二中八景

昭和五(一九三〇)年十月三十日、全国各地において、三島の二松学舎大学創設者、三島毅(中洲)。三島は、当時高名な漢学の大家であつた。新潮日本文学アルバム「夏目漱石」によると、府立一中(日比谷高校の前身)に進んだ漱石が、三年で退学しまった。漱石は、當時漢文が大好きで、英語は大嫌いで、あつたための転校だと伝えてゐる。漱石の漢詩に対する造詣の深さはこの三島の教えに負うている。建碑式報告の記録によると、生徒・職員・同窓会・学友会・創立十周年祝賀会より、二八六円余の総収入を得た。支出内訳として、

まず記念樹代・周囲石や芝代・土盛り地ならし植木などの人件費として一六一円余、次に

我が若人の精神なれ 五城楼がひそかに秘めし情こそ が、ひそかに秘めし情こそ が、東北行啓の折、二中に御来駕、三角術・博物学・英語の授業のほか、道場で行われた撃劍の訓練や講堂での生徒作品を、更に行啓記念にと学校挙げて迎賓の心を傾注した花園「協同園」を御満悦の裡に御覧になったという。

翌年、創立十周年記念・皇太子殿下行啓記念事業として植物園の設置、協同園の拡張、協同園記碑の建立が行われた。碑文の作者は二松学舎大学創設者、三島毅(中洲)。三島は、当時高名な漢学の大家であつた。新潮日本文学アルバム「夏目漱石」によると、府立一中(日比谷高校の前身)に進んだ漱石が、三年で退学しまった。漱石は、當時漢文が大好きで、英語は大嫌いで、あつたための転校だと伝えてゐる。漱石の漢詩に対する造詣の深さはこの三島の教えに負うている。建碑式報告の記録によると、生徒・職員・同窓会・学友会・創立十周年祝賀会より、二八六円余の総収入を得た。支出内訳として、

(以下次号に続く)

花紅葉藏王が池の水の面を

その折々の色にそめけり

この記念事業によって校内の

美的綠化が一段と推進され、

今日の二高庭園の原形が形成されたものと思われる。

応援で、祝勝の凱歌「曉か

けて匂ふなる 桜の花に武士

が若人の精神なれ 五城樓

春の月 清きかなその光」を

高唱するとき、「白雲崖」の

万葉の桜を二高生は、皆が皆

思い浮かべるのではないだろ

うか。今その桜木も幹には空洞ができ、枝の切り口は腐朽

し、サルノコシカケが寄生す

るほど老木と化してしまった。

しかし、今なお「白雲崖」の

名にふさわしい絢爛華麗な桜

花の雲海をみせて誠に健氣で

ある。

老木の間に跡目をしつかり

と継ががそうと若木を植え込ん

だ。幸い根付きも良いようだ。

創立百周年記念事業(渡邊義之校長)の一環として、前

倒し事業として植樹された。

年毎に腐朽してゆく桜の老樹を見ては堀田同窓会会長が

長年懸案としておられたもの。「白雲崖」の寿命は、更に一〇〇年ものびた。

平成13年度事業報告

5月30日	(木)	当番幹事打合せ会①(高12, 24, 25, 36, 37)	二高会議室	18時
6月 6日	(木)	百周年記念第3回常任実行委員会	二高会議室	14時
6月12日	(火)	常任委員会	二高会議室	18時
6月29日	(金)	百周年記念総務・建設合同実行委員会	二高会議室	16時
6月		同窓会会報総会号発行		
7月18日	(木)	当番幹事打合せ会②(高12, 24, 25, 36, 37)	二高会議室	18時
7月28日	(土)	記念館竣工記念式典 同窓会総会 祝賀セレブション	北陵館 同上 仙台ホテル	14時 15時 17時
9月 1日	(土)	百周年記念総務・建設 合同実行委員会	二高会議室	16時
11月21日	(木)	当番幹事打合せ会①(高13, 25, 26, 37, 38)	北陵館	18時
12月		同窓会会報34号発行		
1月10日	(木)	当番幹事打合せ会②(高13, 25, 26, 37, 38)	北陵館	18時
1月17日	(木)	PTA同窓会合同新年懇親会	仙台ホテル	18時20分
2月 6日	(木)	百周年記念総務・建設 合同実行委員会	二高会議室	16時
2月22日	(木)	百周年記念第4回常任 実行委員会(解散式)	二高会議室	14時
2月28日	(木)	同窓会入会式	二高講堂	10時

平成14年度事業計画

5月20日	(月)	当番幹事打合せ会①(高13, 25, 26, 37, 38)	北陵館	18時
6月		同窓会会報総会号発行		
6月14日	(金)	常任委員会	北陵館	18時
6月28日	(金)	当番幹事打合せ会②(高13, 25, 26, 37, 38)	北陵館	18時
7月 6日	(土)	総会 懇親会	仙台ホテル	17時
11月		当番幹事打合せ会①(高14, 26, 27, 38, 39)	北陵館	18時
12月		同窓会会報35号発行		
1月		当番幹事打合せ会②(高14, 26, 27, 38, 39)	北陵館	18時
1月15日	(木)	P同窓親会	仙台ホテル	18時20分
2月28日	(木)	同窓会入会式	仙台二高講堂	10時

仙台一中・二高北陵会
9月再開に向け始動

格藤お同窓会計事務員の本年9月に開催される場所は「北陵会」の予定です。北陵会は年に一度の定期的な会員構成などの会の存続意義につき、これまでの活動を総括するため、毎年秋に実施されています。この会を通じて北陵会は常に新しい方向性を見出していく意図であります。新規会員の募集、従来の会員との連絡が行われます。また、北陵会はこれまで北陵会として大きな役割を果たしてきたと評価されてきました。この会を途絶えさせることなく継続していくために、20回目のペースで報告いたします。今後も北陵会は北陵会の北陵会に同様、ユニークな活動として大きな役割を果たしてきました。この会を通じて北陵会は実に二十年の長期に亘り活動が行われてきました。昨年九月休会を宣言していましたが、リードにより九月再開に向かっていきます。北陵会は実際に二十年の長期に亘り活動が行われてきました。北陵会は昭和五十六年九月発足した協議が進められています。北陵会は実際に二十年の長期に亘り活動が行われてきました。北陵会は昭和五十六年九月発足した協議が進められています。

e ○ F A X 勤く幹夫が問題を解決するためのアドバイスをしています。以下の方々がお問い合わせは、高26回の加藤幹夫の名前であります。新規会員の募集、従来の会員との連絡が行われます。また、北陵会は北陵会として大きな役割を果たしてきました。この会を通じて北陵会は実に二十年の長期に亘り活動が行われてきました。北陵会は昭和五十六年九月発足した協議が進められています。北陵会は昭和五十六年九月発足した協議が進められています。

mikio.ks@hyper.ocn.ne.jp

平成14年度・平成13年度の東北大学合格者数

大学名 (学部)	14年3月			13年3月		
	現役	浪人	合計	現役	浪人	合計
東 大	文	3	2	5	4	1
	教育	2	1	3	1	0
	法	5	3	8	9	1
	経済	3	6	9	4	6
	理	10	0	10	8	6
	医	2	7	9	1	6
	歯	0	4	4	0	1
	薬	3	0	3	2	1
	工	19	21	40	21	10
	農	0	4	4	5	2
計		47	48	95	55	34
						89

同窓会入会式 厳粛に挙行！		去る1月18日、本校講堂にて高校54回生の同窓会入会式が挙行された。新しい常任委員と名簿委員は次のとおり。また代表として、三嶋廣里君が挨拶した。54回生の今後の活躍を期待したい。
II 常任委員一覽	III 三年二組	IV 三年四組
五組	五組	三年五組
佐藤廣人	高橋正洋	相澤泰規
佐藤泰人	小寺陽介	新谷尚平
高橋巧	小野哲平	佐藤尚平
佐藤誠一	相澤泰規	佐藤直樹
佐藤均	佐藤仁	佐々木陵太
佐藤廣仁	佐藤陽介	馬場直樹
佐藤正洋	佐藤泰規	佐藤尚平
佐藤泰規	佐藤廣人	佐藤仁
佐藤直樹	佐藤尚平	佐藤直樹

卒業式式辭

宮城県仙台第二高等学校 校長 佐藤 三之

校舎の内外に溢れる明るい日の光と、昨日来の雨にしつとりと樹の肌を湿らせて芽吹きを待っている樹々のたたずまいにも、確かに春の訪れの感じられる今日ここに、宮城県仙台第二高等学校第五十四回卒業証書授与式が、同窓会長の西澤潤一先生をはじめ、ご来賓多数のご臨席を賜り、盛大に挙行できることは大変慶ばしく心から感謝申し上げます。

ただ今、本校での全ての課程を終了し、卒業証書を授与されました三百二十五名の卒業生諸君とご家族の皆様に心からお祝いを申し上げます。

さて、卒業生諸君が在籍したこの三年間は、本校にどうい記念すべき創立百周年といふ大きな節目の時に当たつていたことから、記念式典をはじめ管弦楽のコンサートやシンボジウム、講演などさまざまなものイベントが開催されましたが。しかも、出演者の講師のすべてが、それぞれの分野において国内外で活躍しておられる本校の同窓生の方々ばかりお祝いを申し上げます。

かりであります。こうしたことでも、これまで数多くの人材を輩出してきた本校の輝かしい歴史と伝統が感じられます。また文化的なイベントのみならず、スポーツ面でも、山形東高校との硬式野球の親善試合やソウル中央高校とのサッカー国際親善試合が行われました。

さらに大運動会や対一高定期戦、北陵祭など、伝統の各行事等にも創立百周年記念の名を冠せ、改めてそれぞれの行事の意義についての認識を深めました。

授業を中心とした教科の学習とは別に、彩り豊かなこうしたさまざまな教育活動が、百周年の記念事業として行われたのです。

そこで至るまでには、辛く厳しい練習や準備の日々があつたはずです。しかし、情熱を傾けて真摯に取り組んだそれらの経験は、確実に一人ひとりの血や肉となっているはずです。

全国各地で結成されている本校の支部同窓会の会合に出席した時に、よく耳にすることに、高校時代の経験や思い出が、人生のさまざまな場面で心の支えになっていたといいました。

「先輩方の述懐がありました。文と武とは、一人の人間の中で一つに溶けあつた形で身に付いていくことが理想である」という意味で理解しています。

漢字四字で、眞實をズバリと言いつた見事な表現であります。

「至誠業に励み……」の目標も、「文武一道」の指針も本校教育のための目標であり指針ではあります。同時に、人間が一生涯かけて目指して

なことであったと思います。また、日頃の活動として、卒業生諸君はこれまでの三年間の中での学習への取り組みは勿論のこと、運動部、学芸部、愛好会、そして生徒会や応援団等委員会活動においても、それぞれが充実した活動を行、多くの実績を残しました。

東北大会やインテル・サイバーレイ、国体、その他の全国レベルの大会への出場や入賞などがあります。

さらに、教育の指針あるいは高校生活の指針としての「文武一道」は、皆んなの大先輩で旧制二中三回卒、講道館柔道の奥義を極めた三船久藏十段が、後輩のために自ら揮毫して残された言葉であります。

「常に励み、瞬時も怠らず」という人生訓は、兼好法師の言葉に示されているように、

「常に励み、瞬時も怠らず」という人生訓は、兼好法師の言葉に示されているように、

「常に励み、瞬時も怠らず」という人生訓は、兼好法師の言葉に示されているように、

「常に励み、瞬時も怠らず」という人生訓は、兼好法師の言葉に示されているように、

「常に励み、瞬時も怠らず」という人生訓は、兼好法師の言葉に示されているように、

した正法眼藏に記されている人生の真理を源としているという説が有力です。

道元は、はじめ比叡山の延暦寺で修行をしますが、山の氣風やそこで修業にあきたらず、また、師と仰ぐべき人物もいないことに気づいて山を下り、その後、栄西に師事し、栄西が亡くなった後、当時の中国の宋に渡り、天童禅院で如淨という名の師につき眠る間もないほど厳しい坐禅を中心とした修業に明け暮れることになります。道元の修行の態度は、その師によつて高く評価されたのです。帰国後は、越前（今の福井県）に、我が国で最も峻厳な規律の下での修業の行われる永平寺を開山することになります。

人生の無常であることを心に強く刻みながら、悟りの世界に入るため、瞬時も怠ることなく仏道修行に全身全霊を打ち込んでいくのが道元の生き方であり、その仏道修行の姿勢や在り方が長い歴史の変遷の中で、教育の場にも取り入れられ、学ぶ者の在るべき理想の姿と考えられるようになります。いつしか仙台二高の教育目標として定着するに至つたわけです。そうした意味合

いが一つ一つの言葉に反映していることをを考えれば、本校の教育目標に対する諸君の認識も変わってくるものと思ひます。

卒業生諸君が本校で過ごした三年の間に、国内外において、さまざま出来事が起りました。また、我が国の現状を見ても、明るい見通しの持てない閉塞の状況が続いています。しかし、このような状況をわれわれ日本人は、これまで何度も経験し、それを克服してきました。必ずや我が國の社会は直直りの時を迎えることを確信しています。

卒業生諸君は、将来において、我が国を支え、またリードしていく立場に立つはずの人達です。これまでの我が国社会の問題要因を探り、再び同じ轍を踏むことのないよう努めるとともに、人々に対する敬愛の心をもつて接し、自らの仕事や任務に対しては、誠意をもって当たる有為の人になつてほしいと願うものです。

諸君のこれから的人生がいつそう充実したものとなり、明るい未来が展望できるようから祈つて式辞と致します。

（平成十四年三月一日）

今春の人事異動

◆転退任の先生方◆

川名あつ子 教諭（英語）
（泉高等学校）

峯村 茂樹 教諭（地歴）
（仙台第三高等学校）

白井 聰 教諭（公民）
（富谷高等学校）

社内 美恵 教諭（理科）
（仙台高等学校）

幕田 和子 教諭（英語）
（退職）

佐々木武夫 非常勤講師
（国語）（退任）

早坂 孝志 教諭（理科）
（宮城県仙台第一高等学校）

藤垣 康二 教諭（体育）
（塩釜高等学校）

遠藤 健三 教諭（保育）
（宮城県岩ヶ崎高等学校）

西澤 強 教諭（体育）
（仙台西高等学校）

金子 忠政 教諭（公民）
（宮城県角田女子高等学校）

芝原 恵美 教諭（養護教諭）
（利府高等学校）

我妻 幹男 主事
（宮城農業高等学校）

相澤 貞子 教諭（地歴）
（宮城県宮城野高等学校）

佐藤 英俊 教諭（数学）
（宮城県第一女子高等学校）

瀧口 和也 教諭（英語）
（宮城県第一女子高等学校）

佐藤 満 教諭（数学）
（宮城県第一女子高等学校）

村上 亮史 主事
（川崎町立本砂金小学校）

照井 春男 主任技師
（宮城県立ろう学校）

西村 浩一 講師（保育）
（宮城県小牛田農林高等学校）

イターブに入団した。

江尻君は高校三年の春の宮城県大会でエースとしてチー

ムを引っ張り見事優勝、同東北大会は準優勝に輝いた。

高校四十八回卒の江尻慎太郎君が、01年のドラフト自由獲得権選手として日本ハムファ

II 叙動・受章 II

平成十四年春
勲五等瑞宝章
中44回 橘高 吉人 殿
勲五等瑞宝章
中42回 那須 翔 殿

心よりお慶び申し上げます。

「バ・リーグは松坂（西武）と江尻がいるからおもしろい」といわれる存在になりたい」これは入団を前にした江尻君のコメントであるが、本校初のプロ野球選手として大いに活躍してくれることを願うばかりである。



話題・トピックス

◆着任の先生方◆

芹沢 良隆 教諭（数学）
（白石高等学校）

増子 進一 教諭（英語）
（仙台第一高等学校）

定期戦速報

硬式野球部が春の県大会で
—春の県大会ベスト4

互いの名譽を懸けて譲れぬ戦い——今年も対一高定期戦で熱気ほとばしる見事な活躍が各試合で見られた。元旦の恒例ラグビー定期戦は、持てる力を十分に發揮できず、5-34で敗れ去ったが、春の定期戦の幕開けとなる軟式野球定期戦では、見事勝利を飾った。

試合は、雨天中止の後、5月十二日に本校グラウンドで

挙行され、行き詰まる投手戦の末着実に加点した本校が、3-0の完封で勝利した。

この余韻にひたりながら、硬式野球の定期戦の幕は切つて落とされた。今年は一高、二高、ともにチーム力は充実し、春季の県大会を目前に控えた五月一七日、小雨そぼ降る中、宮城球場で第一戦が開始された。

二高小川、一高丹野両本格派投手の投げ合いが続いたが、長打を確実にいかした一高が3-2で初戦を制した。

第二戦は、雨天中止を挟んで十九日に行われ、タイに持ち込むべく序盤から積極的に攻めたが、長打を絡めた一高の打線に逆転を許し、3-5

（通算優勝成績）	25勝23敗9引き分け	△バスケットボール	仙台一 76-62 仙台一 (26勝)	△三部定期戦 (5/19)	仙台一 5-34 仙台一 (0/0)
		△バレーボール	仙台一 3-0 仙台一 (24勝)	△軟式野球 (5/12)	仙台一 3-0 仙台一 (0/3)

12 / 12 / 12 / 13 / 折居	11 / 17 / 片岡	10 / 10 / 10 / 17 / 齋藤	10 / 18 / 6 / 1 / 林	9 / 16 / 4 / 17 / 壮	8 / 8 / 3 / 28 / 牛	8 / 14 / 1 / 22 / 恒	1 / 5 / 22 / 22 / 武田	13年

百周年募金一覧▲		*事務局だより*	
高橋 豊広		(追加分)	
高橋	豊広	三〇、〇〇〇円	
笹木 憲司		三〇、〇〇〇円	
ありがとうございました。		上ります。	

百周年記念館「北陵館」も昨年度から利用できるようになり、在校生・同窓生のますますの活用が期待されます。また、校舎内にあった同窓会事務局も「北陵館」に移り同窓会の円滑な活動が期待されるところです。

今年度より校内における体制も変わりましたので紹介します。また今回も原稿をお寄せいただいた方々に感謝申し上げ、結びとしたい。

（遠藤吉夫 高31回）

平成十四年度より、事務局の体制が上記のようになつた。これまで以上のご指導ご鞭撻、よろしくお願ひしたい。

（高31回）

例年から日程を移した三部定期戦も同日午前行われ、こちらはバレー、柔道とも北陵健児の意気盛んな活躍によりすべての種目に勝利を収め、完全優勝を達成した。

トボール、柔道とも北陵健児の意気盛んな活躍によりすべての種目に勝利を収め、完全優勝を達成した。

北高戦では、エース小川が力投し、3-2で見事逆転勝ちを収めた。準決勝では、優勝した仙台高に負けはしたもの、ベスト4に入り、夏の大會での活躍を予感させるしばらくい戦いぶりであった。同窓生諸兄の応援をよろしくお願いしたい。

（高31回）は、佐藤三の校長・奥山春雄（高14）、芹沢良隆（高から今年度転任、高23）、須藤亨（高24）、藤木雅之、山春雄（高14）、芹沢良隆（高28）、森俊之、遠藤吉夫・戸田慶三（高27）、杉内宏行（高28）、森俊之、遠藤吉夫・石井康宏（高31）、和賀久佳・谷藤正樹（高32）、後藤順一・嶺岸盛（高33）、藤垣庸二（塩釜高から今年度転任、高36）、桜井知大（高40）の十六名となりました。

この体制で、校内活動、同窓会活動を頑張っていきたいと思います。

編集後記

教員についても紹介いたします。同窓会事務局長が昨年度奥山春雄教諭から今年度は石井康宏教諭、そして同窓会事務局次長として嶺岸盛教諭という体制に変わりました。

同窓生の教員（）内は（高から今年度転任、高23）、須藤亨（高24）、藤木雅之、山春雄（高14）、芹沢良隆（高28）、森俊之、遠藤吉夫・戸田慶三（高27）、杉内宏行（高28）、森俊之、遠藤吉夫・石井康宏（高31）、和賀久佳・谷藤正樹（高32）、後藤順一・嶺岸盛（高33）、藤垣庸二（塩釜高から今年度転任、高36）、桜井知大（高40）の十六名となりました。

この体制で、校内活動、同窓会活動を頑張っていきたいと思います。